

PROGRAM NOTE

1976

近藤譲：傘の下で

5人の打楽器奏者のための

Under the Umbrella

for 5 percussionists

《傘の下で》は、5人の奏者に分け持たれた25個の（それぞれに音高感の異なる）カウベルと一つのゴングによって奏される。曲全体は、4つの楽章から成っている。第1、第2、第4の3つの楽章では、5人の奏者のパートの間の相互関係は基本的に変わらないのだが、楽章毎に、音の密度、強度、そしてテンポが異なるために、その結果、各楽章が異なった音楽的性格を獲得している。そして、これら3つの楽章に対して、長大な第3楽章は、全く違った音楽構造を持ち、楽章の長さの点でも、音楽的性格に於いても、他の楽章と鋭い対比を成している。

この作品は、1976年6月に作曲。同月27日に、東京での「今日の音楽」音楽祭で、カナダの打楽器アンサンブル「ネクサス」によって初演された。それ以後、世界各地で様々な打楽器アンサンブルによって演奏されている。

近藤譲

初演：1976年6月27日 「今日の音楽4 Music Today '76」（東京 PARCO 西武劇場）

初演者：ネクサス

委嘱：「今日の音楽」現代音楽祭

出版：University of York Music Press (UK)

録音：CP2-13(LP), GLO-5086, ALCD-74

演奏時間：25分